

南摩ダム・渡良瀬遊水地 見学会



荒川放水路
通水100周年記念



出典：水資源機構 思川開発建設所ホームページ

思川開発事業は、思川の支川南摩川に南摩ダムを建設し、洪水調節を行うとともに思川支川の黒川、大芦川と南摩ダムを導水路で結び、水を融通しつつ効率的に水資源開発を行う事業です。

現在、南摩ダム本体建設工事が行われており、今年度末に完成予定です。今回は、この「南摩ダム」と思川下流、渡良瀬川が合流する地点にある渡良瀬遊水地を見学します。

日時	令和6年6月29日(土)	8:00集合・出発
集合場所	JR新小岩駅 東北広場(裏面地図参照)	
参加費	1,000円(資料、交通費の一部として)	
募集人数	40名(先着順)	eizoutoshikeikaku@gmail.com 携帯 080-4006-8819
行程	7:30	なぎさニュータウン(なぎさニュータウンにお住まいの方)出発
	8:00	JR新小岩 東北広場出発(集合次第出発します)
	10:00	南摩ダム見学 ダムサイト展望広場(左岸側)より見学
	11:30	道の駅にしかた お土産購入・昼食等
	13:30	渡良瀬遊水地見学
	17:00	JR新小岩 東北広場 到着予定(道路状況により流動的です。)

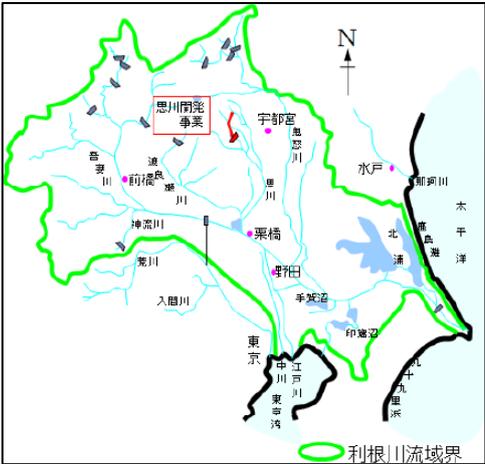
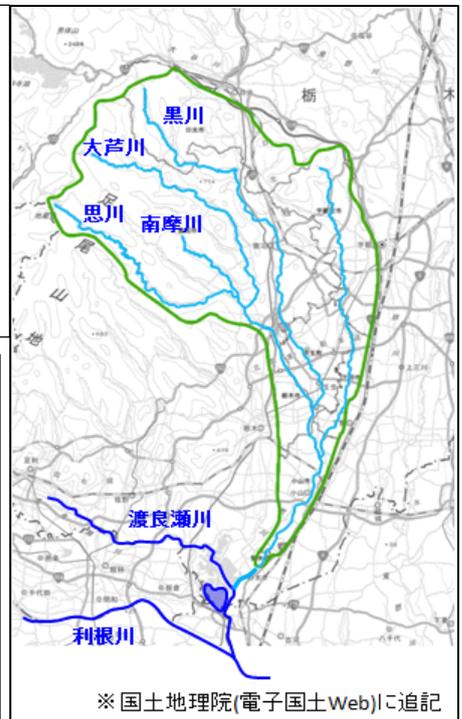
※当日は、次のことに関してご理解、ご協力をお願いします。

- ・昼食時間は、特に設けません。ご持参、途中のサービスエリア等で購入いただき、バス移動中等に各自ご自由をお願いします。
- ・見学行程の中に徒歩での移動がございます。歩き易い服装でご参加ください。

主催 市民防災まちづくり塾実行委員会・関東地域づくり協会

口思川とは

思川は、その源を足尾山地の地蔵岳（標高 1,274m）に発し、栃木県の中央部を南東に硫化して、渡良瀬川に流入している、延長 77.8 km、流域面積 883 km²の河川です。その流域は、宇都宮市、小山市、下野市、上三川町、壬生町及び野木町の計 6 市 3 町にわたるとともに、東北縦貫自動車道、一般国道 4 号、JR 宇都宮線等の主要な交通幹線が通るなど、栃木県の社会活動、経済活動等に大きな役割を果たしている地域です。



口思川開発事業の概要

思川開発事業は、思川の支川南摩川に南摩ダムを建設し、洪水調節を行うとともに、思川支川の黒川、大芦川と南摩ダムを導水路で結び、水を融通しつつ効率的に水資源開発を行う事業です。

口思川開発事業の目的

- ①洪水調節
- ②流水の正常な機能の維持
- ③水道用水の供給



口思川開発事業の特徴

○流域間での水融通による未資源開発
ダムサイトとして適したエリア（南摩川流域）と豊かな流量のエリア（流域面積の広い黒川及び大芦川流域）の間での水融通による効率的な水資源開発を行います。

注意事項

1. 視察は徒歩経路もありますので、運動靴等の靴は必須。服装は、多少汚れてもよいもの（ジーパン等）をお願いします。
2. 徒歩での移動もありますので、両手が使えるようカバンはバックパックをお勧めします。飲料水もお忘れなく。万一に備えて雨具の用意もお忘れなく。なお、雨天の場合は視察ルートが変わります。
3. 場合によっては、遠方からの見学になるため、双眼鏡等をご持参下さい。

新小岩駅東北広場案内図



集合場所

JR新小岩駅北口から北口連絡通路を渡って、ロータリー広場にお集まりください。

